

第18回 作業療法ジャーナル研究助成

松本武士氏の「作業療法士および作業療法学生に対する Sexual Orientation & Gender Identity (SOGI) に関する教育効果の検証」に決定



松本 武士氏

過日、第18回 作業療法ジャーナル研究助成対象選考会が開かれ、松本武士氏の研究が選ばれた。松本氏の研究テーマは「作業療法士および作業療法学生に対する Sexual Orientation & Gender Identity (SOGI) に関する教育効果の検証」である。助成期間は3年間であり、助成金額は30万円である。研究経過については、次年の本誌に掲載する。

第18回研究助成を受けての言葉

松本 武士

(平成医療福祉グループ ダイバーシティ&インクルージョン推進室・人事部/医療法人社団大和会 大内病院、作業療法士/名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻、博士前期課程)

このたびは作業療法ジャーナル研究助成に選出いただき、感謝申し上げます。当該テーマが選出された意義を噛み締めつつ、研究に取り組んで参ります。

私どもの研究チームは、SOGI, LGBTQ に関する教育を主題としています。近年、メディアで取り上げられることも増えてきましたので、読者の皆さんもこれらの用語を目にしたことがあるかもしれません。SOGI とは、Sexual Orientation (性的指向: どのような性に惹かれるか) と Gender Identity (性自認: 自らの性をどのように認識しているか) を示す用語であり、主に性の多様性を表現する文脈で用いられます。LGBTQ は、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング・クィアの頭文字を

取った用語であり、SOGI における少数者 (マイノリティ) を集団として捉える際に用いられます。

SOGI は健康や作業と密接な関係がありますが、作業療法の領域でこれらを扱った研究・教育・実践は多くありません。多様性や社会的包摂に注目が集まる中、私たち OT は SOGI と健康・作業に関する知識を備え、多様な対象者に対する準備性を高める必要があるでしょう。そこで、本研究では OT と作業療法学生を対象とした SOGI に関する教育プログラムの効果を検証し、教育実装のための知見を提供することを目指しています。

このたびの研究助成を推進力に、作業療法の職域に貢献できるよう努めて参ります。